

# ヒトが最大の経営資源 組織力の

「ものづくり大会」でやる気を引き出し技術向上にもつなげる

## ものづくりの喜びを味わってもらうために

板金加工会社のエイトテックは、多品種少量生産を武器にメーカーの試作品開発を手がけている。「試作品の製作は常に一発勝負。図面通りに仕上げる技術力と短納期に対応するスピードが求められます」と木村氏が語るように、社員の加工技術は仕事を通じてどんどん鍛えられていく。しかし、技術を駆使してつくり上げても、試作品が最終製品として世に出ることはない。そこで、社員にものづくりの喜びを味わってもらうと始めたのが、1998年から2年に1度行っている「社内ものづくり大会」だ。「自分で考えたアイデアをもとに作品を製作する。考える苦労やつくる楽しさ、完成した喜びを感じることで俄然やる気が出ます」と同氏。

## 作品の販売を通じて喜びが倍増する

ものづくり大会の唯一の決まりは「自分が好きなものをつくること」。パート社

員も含めて全員参加が前提だ。「うちの社員はものづくりが好きな人間ばかり。必要な機材は自由に使えるようにしているので、仕事外の時間を利用して作品づくりに没頭しています」。ものづくり大会で磨いた技術を新たな仕事に活かし、仕事で磨いた技術をまた自分の作品づくりに活かす。そんな好循環が生まれているという。

現在は作品の販売も行う。オンラインショップを立ち上げ、オリジナルアクセサリーを受注生産で販売。さらに手づくりのオリジナル作品を展示販売するイベントにも出展。「社員が接客も行き、自分がつくった作品を購入していただく。ものをつくる人間にとって最高の喜びです」。好きなものを何とかしてかたちにしようと思う気持ちが向上心につながり、社員同士で自主的に技術を教え合う風土も生まれた。結果として技術レベルが上がり、多能工が多く育つようになったという。一人ひとりのものづくり心をくすぐることで、会社の技術力向上につながる。製造業の組織力はまさに「ものをつくること」であるのだ。

ものづくりの醍醐味が

多能工を育成する



▲レーザー加工技術を活用した、切り絵のような繊細な作品も。イメージをかたちにする作業の過程で必要な技術を習得し、それが本業に活きる。



▲イベント出展時の様子。出展者から受注が入ることもある。

### 株式会社エイトテック

<http://www.eight-tec.com/>

TEL 06-6308-7517

代表取締役 木村 俊雄氏

要素技術を活かした開発も行う。次亜塩素酸ソーダ（強い殺菌力を持った電解水）を生成する装置の開発・販売だけでなく、水族館向けの海底掃除ロボットの開発に参加したことも。

会社DATA 設立/1989年8月

資本金/5000万円

従業員数/11名

事業内容/精密板金加工や試作品製作を中心に展開。精密板金加工の分野で多品種少量生産体制を確立し、高精度な加工機と高い技術レベルで1個の試作品から中量生産まで対応している。加工製品は小さな板バネや端子類の微細板金から2メートル近い大物板金まで可能。飲食店の看板や個人向けアイテムの製作も請け負う。